

適 用 規 格					
定 格	使用温度範囲	-20℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 200 V , DC 250 V			
	電 流	3 A	適合ケーブル	(φ6.5～φ7.3)	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタにDC 1Aで測定する。(MIL-C-2316)	20mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500Vで測定する。(MIL-STD-1344 3003)	1000MΩ以上	○	○
機 械 的 性 能	耐電圧	AC 900Vの電圧を1分間印加する。 (MIL-STD-1344 3001)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	コネクタの挿抜力	φ0.736 ⁰ _{-0.003} 鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.2N以上	○	—
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。但し、ロック機構は除く。	挿入力 70N以下 抜去力 50N以下	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。 (MIL-C-5015 4.6.12.2)	単位コネクタの接触抵抗: 30mΩ以下	○	—
環 境 的 性 能	耐振性	周波数 10～ 500 Hz, 振幅 0.75mm, 加速度 98m/s ² で3方向各3h試験する。 (MIL-STD-1344 方法2005条件Ⅱ)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度490m/s ² , 持続時間11ms, 正弦半波 3方向各3回試験する。 (MIL-STD-1344 方法2004条件E)	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +85℃ → 常温 時間30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 500MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	定常状態の耐湿性	温度71℃, 湿度95%中に336時間放置する。 (MIL-C-5015 4.6.10)	①絶縁抵抗: 50MΩ以上 (高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐水压性	適合コネクタをカン合した状態で 水深1mに0.5時間放置する。(JIS B 6015)	コネクタ内部に浸水が無いこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをカン合した状態で エアーク40kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の漏れが ないこと	○	—
	耐油性	適合コネクタをカン合した状態で切削油中に 48時間放置する。	コネクタ内部に油の浸入の無きこと	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+380±10℃ で3～4秒間ソルダーク部へ当てる。	外観の変形及びコネクタなどに著しい ガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃ で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。 (MIL-STD-1344, 方法3001 条件B)	機能を損なうような、はなはだしい腐食 がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐寒性	温度 -55 ℃中に96時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
Q					
備考			承認	HY. KOBAYASHI	18.02.26
			検 図	HY. KOBAYASHI	18.02.26
			担 当	DS. MATSUNE	18.02.24
			製 図	AI. NISHIYAMA	18.02.22
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。(IEC 60512)					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目		図番	SLC-117790-31-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	HR08D-12WLPN-10S (31)	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL108-0277-3-31	△ 1/1